

I 平成 30 年度事業運営の特徴と課題

1 各介護保険事業の状況

1 各介護保険事業の状況

(1) 特別養護老人ホームの利用状況

稼働率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均稼働率 (年延べ人数)
介護老人福祉施設 定員 80 名	99.2	97.9	98.5	97.4	98.2	97.1	97.6	99.2	98.4	97.8	94.4	97.0	97.7 (28,528 人)
短期入所生活介護 定員 20 名	107.0	111.3	108.2	106.3	106.0	105.7	104.4	109.0	101.8	94.2	114.1	113.1	106.8 (7,796 人)
特養 計 定員 100 名	100.8	100.6	100.4	99.2	99.7	98.8	98.9	101.2	99.1	97.1	98.3	100.2	99.5 (36,317 人)
												前年比	-0.08

*入院等による空床を積極的に、ショートステイを活用するなどの効率的な利用に努めることで、年間平均稼働率は99.5%となりました。

(2) 在宅サービスセンターの利用状況

稼働率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均稼働率 (年延べ人数)
通常型通所介護 定員 30 名	85.9	80.2	88.6	89.7	90.7	86.0	89.6	91.7	92.8	87.1	84.7	89.6	88.1 (8,184 人)
認知症型通所介護 定員 10 名	75.2	67.0	66.9	67.3	62.2	66.8	63.7	44.6	58.9	53.3	49.2	48.8	60.4 (1,873 人)
通所 計 定員 40 名	83.2	76.9	83.2	84.1	83.6	81.2	82.6	79.9	84.4	78.6	75.3	78.9	80.73 (10,044 人)
												前年比	-0.98

*年間稼働率は、通常型通所介護が前年より、3.3%増の88.1%、認知症型通所介護が前年より15.1%減の60.4%、通所合計が前年より1.7%減の80.73%となりました。

(3) 介護老人福祉施設事業の状況

港区の指定管理者として28年度から5年間の指定を受け、その3年目の管理運営を適切に行いました。サービスの提供はご利用者の個性や価値観を尊重し、個々の能力に応じた生活が営めることを目標にしました。そのために、安全で快適な施設生活が送れるよう、ご利用者一人ひとりの状態に合わせたサービスの提供に努めました。看護師の夜間配置により胃ろう等の医療を必要とする要介護者を多く受け入れました。重度の認知症により特別な見守りが必要なご利用者が落ち着いて過ごせるよう、専用スペースを設けケアを行いました。また、嘱託医との連携により10件の看取り介護を実施しました。生活の質の向上の観点から、ご利用者が楽しめる多彩な活動の実施に取組みました。地域性を生かした外出や季節を感じるイベント、食を楽しむ、複合施設の特徴を生かし、併設する児童館と毎月の交流会等を実施しました。

地域との連携については、地域の小中学校や幼稚園をはじめ、町会、商店会、警察、消防、

関係団体など、幅広いメンバーで構成する「地域懇談会」を開催しました。納涼祭など時季に応じた行事も地域の協力を得て実施しています。また、選任のボランティア・コーディネーターを配属することにより多彩なボランティア活動を調整し、効果的な地域との交流やご利用者の余暇活動の充実、日常生活の活性化を図ることができました。

(4) 短期入所生活介護事業の状況

ご利用者の心身の機能の維持並びにご家族の身体的及び精神的な負担の軽減が図れるよう、毎日のレクリエーション活動や医療面での充実を図り、できる限りご希望に応じたサービスの提供に努めました。また、介護老人福祉施設との併設であることから、施設ご利用者の入院や退所による空床をキャンセル待ちのご利用者に提供することによりショートステイの稼働率は106.8%、施設全体の稼働率が99.5%となり、施設を有効に活用することができました。

(5) 通所介護事業・認知症対応型通所介護事業の状況

デイサービスのご利用により、ご利用者の心身の安定、機能の維持そして、ご家族の身体的及び精神的な負担の軽減が図れるよう、サービスの提供に努めました。

サービスの提供に当っては、ご家族及び居宅介護支援事業所との連携により、在宅生活の継続性を重視し、ご利用者の希望に応じて選択できるよう、多彩な趣味、活動のプログラムを準備し提供しました。デイサービスについては、ニーズに応え、今年度も引き続き年末の運営（12月29日～31日）を試行的に実施しました。通常型通所介護においては、新規のご利用者も増え、稼働率も前年度を上回りましたが、認知症対応型通所介護は、ご利用者の施設入所等により利用人数は減少となりました。通所合計の年間稼働率は81.2%となりました。

また、要支援状態のご利用者について、できる限り要介護状態にならずに、住み慣れた地域でその有する能力を活かし自立した生活を送ることができるよう、介護予防サービスを提供しました。

(6) その他

認知症介護の専門職員を育成する東京都認知症介護研修を受講した職員が中心となり、「認知症介護プロジェクト委員会」を立ち上げ、毎月1回委員会の中で認知症の方のアセスメントの仕方や認知症の方の気持ちに寄り添える職員像について検討し、課題を考え、各フロアで課題解決の取り組みを実施しました。また、ご家族や地域企業に向け昨年以上の認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の正しい理解を深める取り組みを進めました。

平成30年度認知症サポーター養成講座実施内訳

* あいおいひまわり損保（3回実施）、明治安田生命（1回実施）、赤坂小学校（1回）、赤坂中高生プラザ保護者（1回）

2 港区からの受託業務等の状況

(1) 港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂の管理運営に関わる業務

港区の指定管理者として、港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂の管理運営に関わる看護に関する業務、介護に関する業務、その他複合施設であることによる建物管理等の業務を行いました。

(2) 港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂の管理運営に関わる業務

港区の指定管理者として、港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂の管理運営に関わる入浴に関する業務、送迎に関する業務、その他調理委託等の業務を行いました。

(3) 港区高齢者集合住宅の生活協力員業務

港区から委託を受け、港区立はなみずき白金等5か所の港区高齢者集合住宅の生活協力員業務を行いました。

(4) 氷川武道場の受付等の業務

株式会社ピーウォッシュ・太平ビルサービス株式会社共同事業体から委託を受け、氷川武道場の受付等の業務を行いました。